

研究に関する情報公開文書（様式六） 名鉄病院

研究課題名：持続陽圧呼吸療法のアドヒアランスに及ぼす鼻腔通気度の臨床的検討

1. 研究の対象

2024年4月から2026年4月までの期間に、当院において睡眠時無呼吸症と診断され、鼻腔通気度検査およびCPAP療法を受けた患者さんを対象とします。

2. 研究目的・方法・研究期間

閉塞性睡眠時無呼吸症（OSA）に対する標準治療であるCPAP療法（鼻にマスクをして、空気圧で気道を広げる治療法）は有効性が確立されていますが、治療効果は患者さんの使用状況（アドヒアランス）に大きく依存します。CPAP療法の継続を妨げる要因の一つとして鼻閉が指摘されていますが、鼻腔通気度という鼻閉の客観的指標とアドヒアランスとの関係については十分に明らかになっていません。本研究では、鼻腔通気度検査結果とCPAP使用状況（使用時間や使用率など）との関連を検討することを目的とします。本研究は電子カルテに記録された既存の診療情報を用いた後方視的観察研究であり、新たな検査や治療を追加で行うことはありません。得られた臨床情報につき、確実に匿名化するため、個人情報漏洩することが一切ありません。本研究に必要な資金は耳鼻咽喉科の研究費を使用し、外部からの研究資金は使用いたしません。外部の物的・人的な支援は受けることはございません。研究責任者と共同研究者の本研究に利益相反（当事者間の行為が一方の立場では利益になるものの、他方の立場では不利益になること）はございません。研究期間は倫理審査承認後から2031年12月31日までとします。

3. 研究に用いる情報の種類

対象は2024年4月～2026年4月までの間に睡眠時無呼吸症と診断され、鼻腔通気度検査、CPAP療法が実施された患者さんで、CPAP治療機器から得られる使用時間・使用率、鼻腔通気度検査結果、終夜睡眠ポリグラフ検査結果（無呼吸低呼吸指数など）、体重、BMIなどの臨床情報を使用します。

4. 外部への情報の提供

本研究において、研究対象者の情報を外部へ提供することはありません。なお、本研究の成果は論文投稿や関連学会等において発表する場合がありますが、個人が特定される情報が公表されることはありません。

5. 研究組織

研究責任者：中央臨床検査部 平田正敏

6. 除外の申出・お問い合わせ先

本研究では、対象となる患者さんから直接同意をいただく代わりに、研究内容の情報を公開し、参加を拒否する機会を保障しています。ご自身のデータを研究に使用してほしくない場合は、下記の連絡先までご連絡ください。対象から除外いたします。なお、すでに研究結果が学会や論文等で公表されている場合には、データを削除できない場合がありますのでご了承ください。

問い合わせ先

名鉄病院 中央臨床検査部

担当者：平田正敏

〒451-8511

名古屋市西区栄生二丁目26番11号

TEL：052-551-6121